

千葉市議会議員

# たばた直子

議会報告  
レポート  
VOL.8



## 平成25年度予算案を可決しました。

### ● 予算に対する賛成討論を会派代表として行い、平成25年度予算案を全て可決しました。

平成25年度も収支見通しが約169億円の収支不足という大変厳しい財政状況での予算編成となりました。財政健全化にしっかりと取り組みながら、健康の増進・絆の再生・地域活動の推進、教育・地域経済の活性化・災害に強いまちづくり等、重要な分野に配分されている点や25年度末における全会計の市債残高が前年度比120億円削減され1兆621億円となる点等を評価し、全て可決しました。

**予算規模 一般会計3595億円 特別会計3891億円**

### ✧ 新規・拡充された事業 ✧

- 避難所運営委員会（資材の整備）【500万円】
- 防災行政無線の整備・改修【1億4200万円】
- 福祉避難所の整備、物資の備蓄【約5300万円】
- 公共施設予約システムの導入（公民館・コミュニティーセンターのネットでの予約受付が開始 10月～）【330万円】
- 配偶者暴力相談支援センター設置【約400万円】
- 子育てコンシェルジュの配置（保育所待機のある家庭に向けての総合相談。中央区・稲毛区）【約380万円】
- スクールソーシャルワーカー活用【約420万円】
- 理科教育サポートの配置【約1130万円】
- 海辺の一体的活用に向けた調査【200万円】
- 幕張新都心における公衆無線LAN環境の整備【100万円】
- 地域再生支援（集合住宅の建て替えに伴う計画策定費への補助）【50万円】
- 道路照明等への海拔表示設置（400か所）
- 液状化対策推進【1億45万円】



## ご意見お待ちしております！

- お名前
- ご住所
- TEL/e-mail

\* 皆様のご意見をお寄せください。地域の課題等お知らせください。

ご意見メモ▶

.....

FAX : 043-216-3891 までお送りください



## 12月議会で行った一般質問の報告

### 子ども・若者総合相談センターLINKについて

昨年8月に県内で3か所目となる引きこもりや不登校等の子ども・若者を対象に総合相談窓口「子ども・若者総合相談センターLINK」が開設されました。相談内容に応じて、教育・福祉・保健・医療・矯正・更生保護・雇用等の関係機関・団体を組み合わせ、専門機関の紹介や情報の提供・助言で問題の解決に向けて支援します。開設後、数か月で多くの相談が寄せられ、今後、一人一人に継続的な支援を行う必要があることから、非常勤嘱託職員2名で行っている相談体制の強化と今後の体制として悩みを抱える子ども・若者の居場所づくり、NPO等のサポート人材育成の強化を要望しました。

➡ 職員の体制強化については前向きな答弁をいただき、平成25年度には正規職員の増員が決定しました。

### 子ども・若者総合相談センターLINK

● 千葉市美浜区高浜 3-1-3 千葉市教育会館 2階  
千葉市青少年サポートセンター西分室内

■ 相談電話 050-3775-7007 受付時間 月～金曜日 9:00～17:00  
第3日曜日 9:00～17:00

※ 第3日曜日のみ、青少年サポートセンター中央 に対応しています。

### 安心して子育てできる相談体制について

乳幼児時期の子育ては母親の育児負担が大きく、悩みや不安の解消が重要であることから、この時期を中心とした行政の相談体制について質問しました。

### ✧ 各相談窓口の体制と特徴について ✧

市民から見て、各窓口の専門や特徴がわかりにくい、相談しやすい窓口のあり方について質問しました。

#### ★ 各保健福祉センターの健康課・こども家庭課

発達・健康などの相談に対して保健師・栄養士等の専門職が相談を受けます。予約制ですが、専門性の高い相談にも対応できます。

#### ★ 子どもリラックス館・子育て支援センター

地域の身近な場所にあり、保育士などによるアドバイスが受けられます。専門的な相談については必要に応じて連携機関につないでくれるので安心です。

### ✧ 総合相談窓口となりうる基幹的機能について ✧

子育て中の悩みは複雑で、どこに相談したらよいかかわからないことも多くあります。メール相談を行い、総合相談窓口と称している自治体もありますが、相談の背景にはしっかりとした体制があることが重要です。本市では子育て支援館が子育て施設の基幹的機能を果たしていますが、まだ市民の方への周知が十分だとは言えません。子育て支援館はメールでの相談や専門職による相談等の体制が充実しているだけでなく、親子の遊び場、イベントの開催等の充実も図られています。子育て中は、悩みを母親一人で抱えがちです。行政サービスの利用により、楽しいと思える子育て環境の整備を今後も求めていきます。